

とうえいCS 令和7年度に向けて

I とうえいCS の理念（R6 学校運営協議会で熟議・決定）

笑顔と誇り 子どもの育つ力を信じて～

子どもたちではなく、子ども一人ひとり、個に目を向ける。

育てるではなく育つ。本来子どもは育つ力をもっている。

とはいえ、信じて待っているだけではいけない。「信じて～」子どもが力を発揮しやすくするために、自分にできることを考え、行動する。伝え合い、熟議する。

「笑顔」と「誇り」のとらえ方は自由。子どもとともに笑顔になり、誇りを胸に巣立って行ってほしい。

II 方向性

1. 子どもをまん中にし、双方向で「しあう」関係性を築こう！

○子どもの声、思いを大切にする。

○子どもと一緒に○○しあう。子どもの力を信じて○○しあう。

知りあう ふれあう 話しあう 聞きあう 伝えあう 呼びあう 笑いあう
交わしあう 認めあう 学びあう 支えあう 助けあう 分かりあう
理解しあう 分かちあう 応援しあう 感動しあう 感謝しあう …

2. コミュニケーションの場を広げよう！ Let's 熟議

○熟議の場は学校運営協議会だけではない。子どもと、保護者と、学校・先生と、地域と… 様々な場で、様々な人と、様々な熟議を。

○学校運営協議会では、課題解決のための熟議を。

○地域学校協働本部では、活動の体系化のための熟議を。

＊ハブとなる人材が熟議に参加し、つなぐ。 【別紙参照】

3. 学校教育活動から、放課後活動、地域活動へ広げよう！

○地域コーディネーター（地域おこし協力隊）の任用

○放課後活動実施への第一歩

小学校：各学期１回 中学校：年１回 地域講師と一緒に体験する機会の設定

○学校教育活動での学びを地域に発信

○循環できる仕組み・拠点づくり

- ・卒業生が地域にかかわることができる。
- ・まちづくりにつながることができる。
- ・子どもの居場所、情報の集まる場、発信の拠点づくり。